

スマートフォンでのPDF作成方法

PDFへの変換方法(例)

レポートは手書きで作成になります。CSTポータルでの提出はPDFになりますが、手書きで作成したレポートのPDF変換例を紹介します。

PDFに変換されていれば、変換方法は各自にお任せします。

■ 携帯(スマホ)を使った変換例

スマホを使った変換例を紹介します。

使ったアプリ: Evernote Scannable

: Google drive

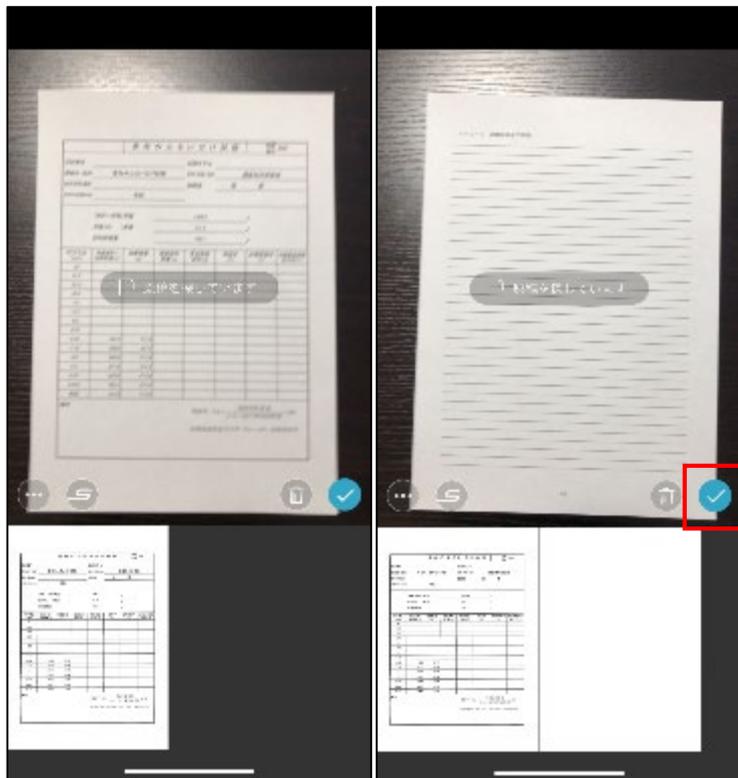
使ったスマホ: iPhone10



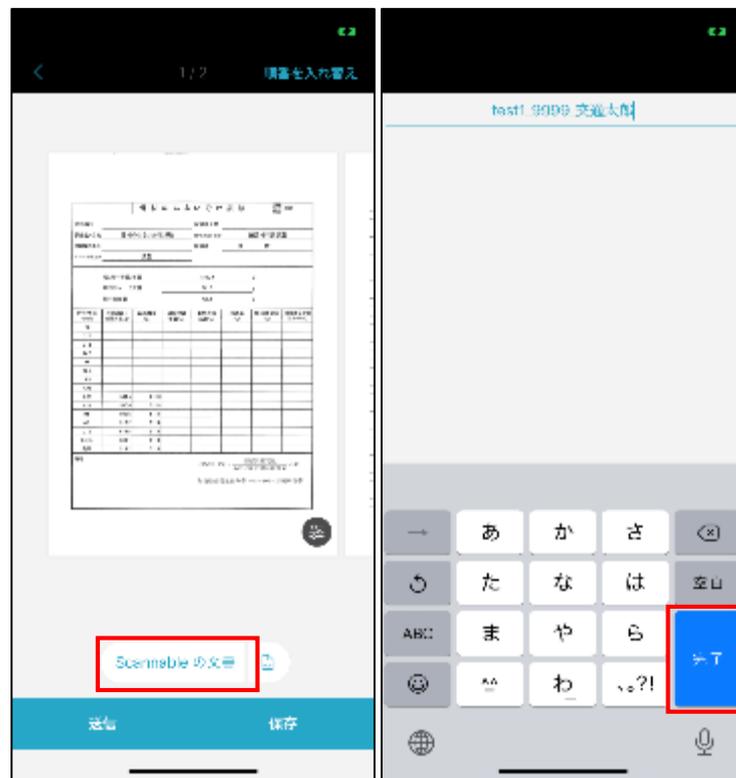
スマートフォンでのPDF作成方法



①



②



③

① アプリを起動

② 作成したレポートをアプリの枠に合わせて撮影

(初期設定は、自動で撮影してくれます。)

※撮影時は、レポートの真上から撮影するようにする。

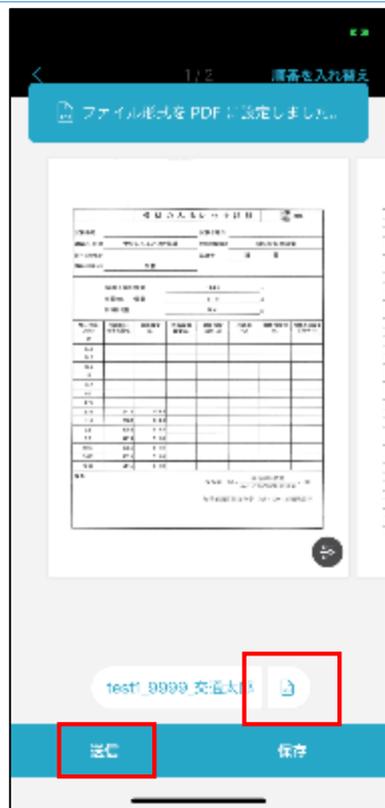
(用紙と対照的な色の机等に置くと正しく認識してくれます。)

(連続で撮影できるので、撮影したい分だけ認識させる)

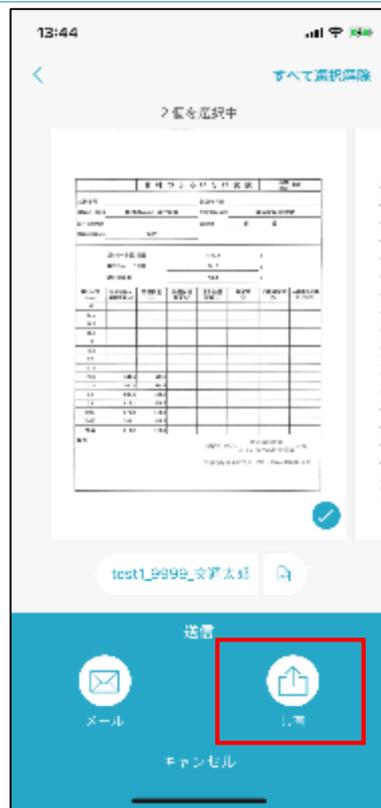
必要枚数分撮影したら、右下の「✓」をタッチ

③ 「Scannableの文章」をタッチし、指定されたファイル名に変更する。

スマートフォンでのPDF作成方法



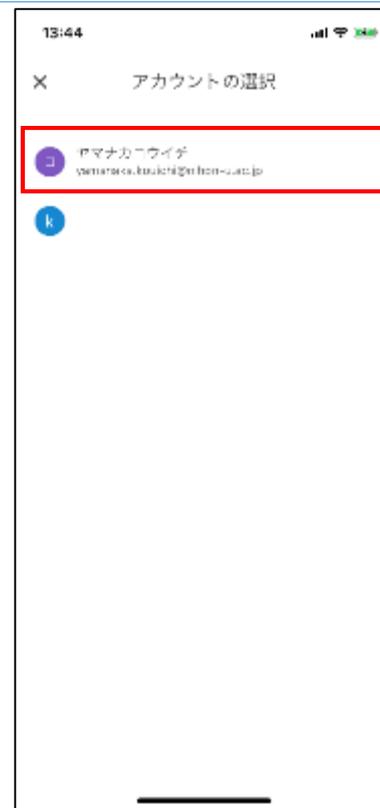
④



⑤



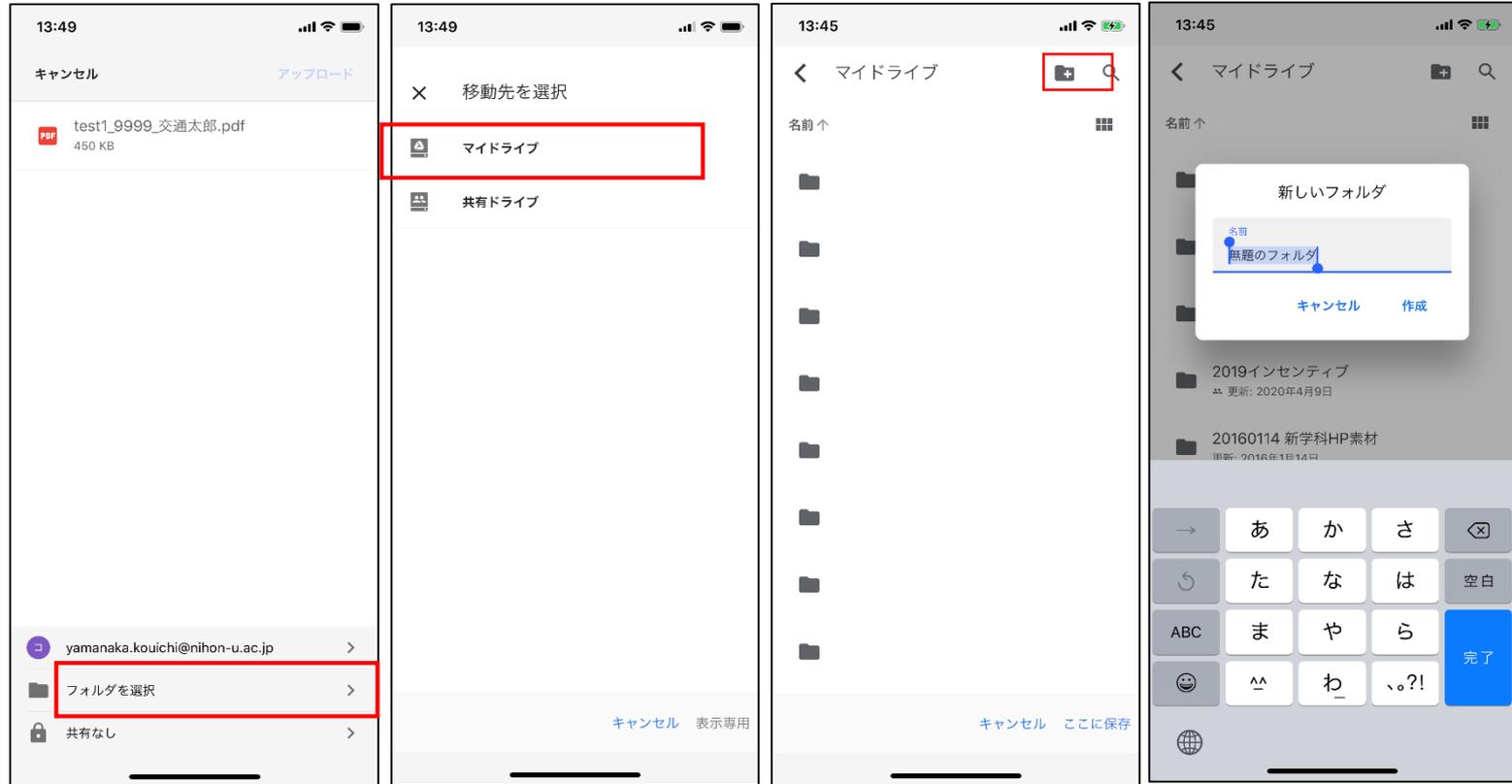
⑥



⑦

- ④ PDFファイルが選択されているか確認(画像ファイルとPDFの2種類があります)。PDFが確認出来たら「送信」をタッチ
- ⑤ 「共有」を選択
- ⑥ Google driveのアプリを選ぶ
- ⑦ 自身のNUmailのアカウントを選択

スマートフォンでのPDF作成方法



⑧

⑨

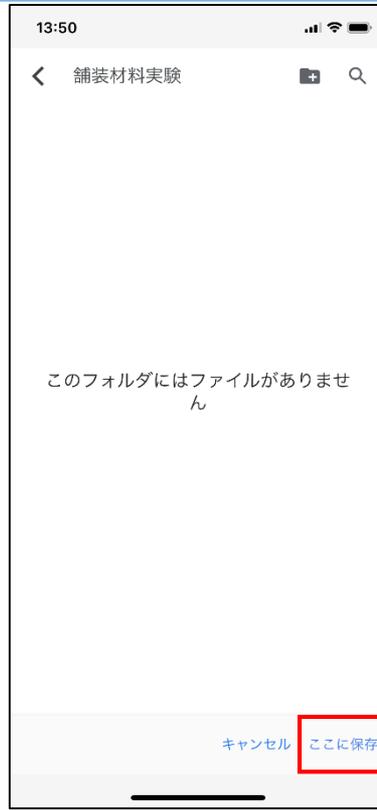
⑩

- ⑧ 「フォルダを選択」をタッチ
- ⑨ 「マイドライブ」をタッチ
- ⑩ 保存したいフォルダを選ぶ。今回は新規作成。
(舗装材料実験のフォルダを作成)

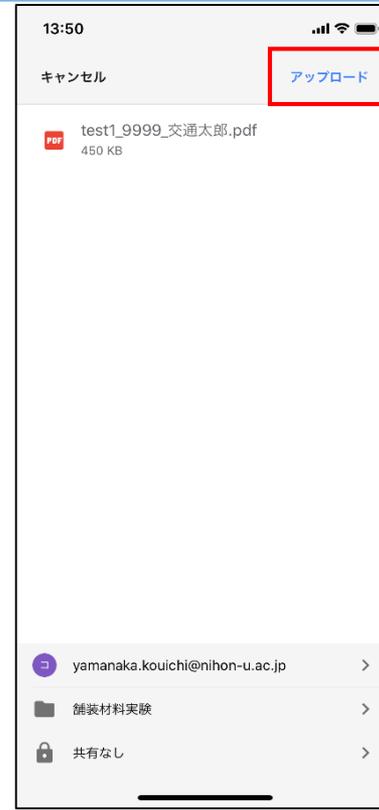
スマートフォンでのPDF作成方法



⑪



⑫



⑬



⑭

- ⑪ 保存したいフォルダをタッチ
- ⑫ フォルダを開いたら、「ここに保存」をタッチ
- ⑬ アップロードをタッチ
- ⑭ 完了の画面が出れば保存完了

スマートフォンでのPDF作成方法



⑮



⑯

← これをCSTポータルで提出

⑮ Google Driveを開いて、保存したフォルダ「舗装材料実験」を開く

⑯ 保存したデータを確認し、CSTポータルへ提出

※これはあくまで一例なので、自身のやりやすい方法でPDFに変換してください。

おわり
